

項目	評価の観点	評価項目	質問	5		4		3		2		1		合計	平均	昨年度平均	本年度の成果と次年度の課題
				人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%				
学校運営	本校の独自性	建学の精神	1	0	0.0	13	22.8	36	63.2	8	14.0	0	0.0	57	3.1	3.5	建学の精神、教育方針、学校教育目標に照らして、重点努力目標を「自ら学ぶ習慣を身につけ、集団や社会の一員としてより良い人間関係や生活を築こうとする態度と実践力を育てる」とした。学校行事、女性学～女性の学び、教科学習を通して一定取り組むことができたと言える。教科学習においては、4月当初の教科会議で年間シラバスを作成し、学期末の成績評価については、教科会議の中で検討することになっている。さらに、週1回の教科会議での授業研究の充実を図りたい。
		教育方針	2	0	0.0	18	31.6	34	59.6	5	8.8	0	0.0	57	3.2	3.2	
		教育目標	3	0	0.0	17	29.8	36	63.2	4	7.0	0	0.0	57	3.2	3.3	
	教育課程全般	学習指導要領との関連	4	5	8.8	27	47.4	23	40.4	2	3.5	0	0.0	57	3.6	3.9	
		教科の教育計画	5	2	3.5	16	28.1	35	61.4	4	7.0	0	0.0	57	3.3	3.4	
		シラバス	6	6	10.5	22	38.6	26	45.6	3	5.3	0	0.0	57	3.5	3.8	
	教職員連携	学習評価	7	22	27.0	27	47.4	7	12.3	1	1.8	0	0.0	57	4.2	4.3	
		教員の連携	8	4	7.0	22	38.6	26	45.6	4	7.0	1	1.8	57	3.4	3.4	
		会議の効率性	9	1	1.8	16	28.1	34	59.6	5	8.8	1	1.8	57	3.2	3.0	
	広報活動	校務分掌の有効性	10	0	0.0	6	10.5	41	71.9	9	15.8	1	1.8	57	2.9	3.1	
HP		11	3	5.3	22	38.6	29	50.9	3	5.3	0	0.0	57	3.4	3.8		
OC		12	13	22.8	28	49.1	16	28.1	0	0.0	0	0.0	57	3.9	4.1		
情報公開	教育活動の公開	13	2	3.5	26	45.6	27	47.4	2	3.5	0	0.0	57	3.5	3.6		
	個人情報保護	14	3	5.3	24	42.1	29	50.9	1	1.8	0	0.0	57	3.5	3.9		
危機管理	危機管理の対応状況	15	2	3.5	22	38.6	32	56.1	1	1.8	0	0.0	57	3.4	3.3		
	安全教育	16	0	0.0	19	33.3	35	61.4	3	5.3	0	0.0	57	3.3	3.1		
財務関係	経費削減の意識と実行	17	2	3.5	14	24.6	25	43.9	16	28.1	0	0.0	57	3.0	3.1		
教育内容	教科指導	教科会議	18	1	1.8	27	47.4	28	49.1	1	1.8	0	0.0	57	3.5	3.5	年1回7月に生徒の授業アンケートを実施している。その結果を教科会議で分析し、授業改善に取り組んでいる。これまでは一斉授業の形式の授業形態が主となっていたが、個々の生徒の理解にあわせた課題を提供することや学習に取り組む環境を整えることが求められている。つまり、アクティブラーニング(能動的学習)とアダプティブラーニング(個々への適応学習)の視点を持ち、生徒の学びの意欲を引き出す授業を展開することが課題となっている。さらなる授業研究を続けていきたい。文化祭・体育祭・コース大会などの学校行事は、いずれも充実した取り組みとなっている。また、高校2年生3月に実施しているハワイ修学旅行は、ダンスに取り組む事前学習の中で学ぶものは多く、生徒にとっても感動体験として印象に残る行事となっている。
		生徒の質問に	19	4	7.0	29	50.9	24	42.1	0	0.0	0	0.0	57	3.6	4.0	
		授業アンケートを	20	2	3.5	18	31.6	36	63.2	1	1.8	0	0.0	57	3.4	3.6	
		授業ルール	21	2	3.5	15	26.3	32	56.1	7	12.3	1	1.8	57	3.2	3.1	
	女子教育	女性学	22	0	0.0	22	38.6	28	49.1	7	12.3	0	0.0	57	3.3	3.2	
		教職員の意識	23	0	0.0	11	19.3	42	73.7	4	7.0	0	0.0	57	3.1	3.1	
	人権教育	他者を意識し	24	0	0.0	29	50.9	25	43.9	3	5.3	0	0.0	57	3.5	3.1	
		人権教育の組織的	25	2	3.5	4	7.0	33	57.9	18	31.6	0	0.0	57	2.8	2.8	
		人権侵害事例対応	26	2	3.5	13	22.8	37	64.9	5	8.8	0	0.0	57	3.2	3.2	
	学校行事	文化祭・体育祭	27	5	8.8	32	56.1	19	33.3	1	1.8	0	0.0	57	3.7	3.9	
修学旅行		28	27	47.4	29	50.9	1	1.8	0	0.0	0	0.0	57	4.5	4.6		
情報教育	情報活用能力	29	0	0.0	28	49.1	29	50.9	0	0.0	0	0.0	57	3.5	3.2		
	情報モラル	30	1	1.8	21	36.8	32	56.1	3	5.3	0	0.0	57	3.4	3.5		
特別支援教育	教職員の理解	31	0	0.0	7	12.3	42	73.7	7	12.3	1	1.8	57	3.0	2.9		
	具体の取り組み	32	0	0.0	15	26.3	35	61.4	6	10.5	1	1.8	57	3.1	3.1		
	生徒会活動	33	5	8.8	18	31.6	31	54.4	3	5.3	0	0.0	57	3.4	3.4		
部活動	自治力を育む	34	1	1.8	18	31.6	32	56.1	6	10.5	0	0.0	57	3.2	2.9		
	活発	35	23	40.4	25	43.9	8	14.0	1	1.8	0	0.0	57	4.2	4.4		
	挨拶の励行の指導	36	7	12.3	26	45.6	22	38.6	2	3.5	0	0.0	57	3.7	3.4		
	保護者会	37	3	5.3	8	14.0	34	59.6	11	19.3	1	1.8	57	3.0	3.2		
	生徒指導	38	1	1.8	25	43.9	28	49.1	3	5.3	0	0.0	57	3.4	3.2		
生徒指導	学校のみまりの指導	39	3	5.3	7	12.3	41	71.9	5	8.8	1	1.8	57	3.1	3.1	生徒の情報を教職員間で共有して組織的に取り組むという点は、一定改善した。これらの情報交換は、タイムリーでなければならぬ。早い段階で情報を共有し、的確な判断のもとに対応するというサイクルを徹底することが必要である。進学コースの「高大連携講座」「大学体験入学」総合コースの「学部学科別説明会、などなどさまざまな場面で園田学園女子大学との連携をすすめている。さらに、内部進学制度の充実を図りたい。	
	学年全体の取り組み	40	4	7.0	24	42.1	28	49.1	1	1.8	0	0.0	57	3.5	3.6		
	学習支援	41	3	5.3	28	49.1	24	42.1	2	3.5	0	0.0	57	3.6	3.4		
	進路支援	42	2	3.5	20	35.1	32	56.1	3	5.3	0	0.0	57	3.4	3.5		
	園田学園女子大の内容	43	0	0.0	7	12.3	33	57.9	16	28.1	1	1.8	57	2.8	2.8		
	園田学園女子大との連携	44	0	0.0	6	10.5	33	57.9	18	31.6	0	0.0	57	2.8	2.8		
	内部進学	45	0	0.0	9	15.8	31	54.4	17	29.8	0	0.0	57	2.9	3.1		
家庭との連携	家庭との連携	46	4	7.0	8	14.0	42	73.7	3	5.3	0	0.0	57	3.2	3.6	日常的に保護者との連携を密にして、生徒の教育をすすめていかなければならない。	
	育友会との連携	47	0	0.0	2	3.5	35	61.4	19	33.3	1	1.8	57	2.7	2.7		
教職員研修	研修内容	48	0	0.0	10	17.5	40	70.2	6	10.5	1	1.8	57	3.0	3.3	「研修」という時間だけが研修ではなく、教育活動のあらゆる場面での工夫・改善を通して実践力を培うことを心がけなければならない。	
	研修成果	49	0	0.0	12	21.1	36	63.2	7	12.3	2	3.5	57	3.0	3.2		
	自主研修	50	0	0.0	9	15.8	28	49.1	18	31.6	2	3.5	57	2.8	3.1		